

第一貨物 石巻営業所・大貫 博所長



「現場の意識に変化」

きなかったが、顧客は「第一貨物さん、早かったね」と。八月に石巻営業所を再開し、「よく戻ってきてくれた」と喜んでもらった。

武藤社長の言葉「反転攻勢」を胸に刻む。もう一年。震災を言い訳にはしたくない。前を向いていかないといけない。

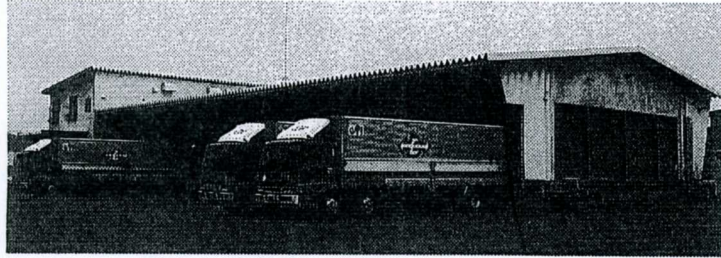
顧客ニーズに沿った仕事が大変。以前三人で行った荷降ろしを十人でこなす。ドライバーが一時早出し、朝七時の関東からの荷物を一斉に降ろす。建設業者が七時過ぎに荷物を取りに来る。リードタイム短縮を図る。

現場の意識が震災を機に変わった。目つきが違う。「自分たちの生活は自分たちで守る」。責任感を持つようになった。

震災時ホームでは大型車が倒れるほど傾き、向かいの山が崩れた。大津波警報が出て、ドライバーには車を捨ててでも逃げるよう指示。私たちは営業所から二き離れた高台で難を逃れた。

震災当日連絡が取れなかった従業員二十六人がそろい、「まず事務所とホームを片付けよう」と。構内の大量の泥の除去もあり、二〜三週間かかった。モノが不足する中、全社から救援物資が届き、本当にありがたかった。

四月から仙台南支店（宮城県名取市）を基点に石巻地区に配送。午後一回転しかで



8月1日稼働を再開した石巻営業所